

第 6 回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

公の施設等について ～個別施設の現状と課題、その対応方針～

運動公園（堀原運動公園、笠松運動公園）（教育庁）

令和 6 年 2 月 13 日（火）

○施設名 運動公園（堀原運動公園、笠松運動公園）

1 現状

(1) 施設の概要

○ 両運動公園は、県民のスポーツレクリエーション活動及び体力の向上とスポーツ文化の振興を目的に、社会体育施設としての役割を担っている。

施設名	堀原運動公園	笠松運動公園						
所在地	水戸市新原2-11-1	ひたちなか市佐和2197-28						
開設	昭和32年6月	昭和49年12月						
施設概要	施設敷地 125,489.79 m ²		施設敷地 560,430.67 m ²					
	施設名	面積 (m ²)	その他		施設名	面積 (m ²)	その他	
	競技場	19,200			陸上競技場	32,353.98		
	野球場	22,889.6			補助陸上競技場	20,490		
	武道館	9,869.79	鉄筋コンクリート造3階建		投てき場	7,986.70		
	自由広場	11,850			体育館	8,691	鉄筋コンクリート造2階建	
	児童公園	4,246.73			球技場	24,100		
	※武道館は建物延べ床面積				テニスコート	14,900		
					野球場	15,550		
					児童スポーツ広場	6,000		
					登はん競技場	-	2面	
					屋内水泳プール 兼アイススケート場	18,078.079	鉄筋コンクリート造2階建	
					アーチェリー場	1,957.21		
					前庭広場	11,173		
				中央広場	20,226			
				日本庭園	6,563			
				子供の広場	11,000			
				※体育館等の建物の面積は延べ床面積				
設置理由	県民のスポーツレクリエーション活動及び体力の向上とスポーツ文化の振興を目的に設置							
利用料金	売店使用料（1年以上／1平方メートル1月につき）：27円、ほか452項目を設定（茨城県都市公園条例第11条及び第15条の8、第15条の12）							

【参考：ネーミングライツ導入状況】

施設名	ネーミングライツ・パートナー	通称名	契約期間
堀原運動公園 (武道館)	(株) 東日本技術研究所	東日本技術研究所 武道館	令和5年度～令和9年度 (5年間)
笠松運動公園 (体育館)	(株) まるたか観光	まるたか観光アリーナ	令和5年度～令和9年度 (5年間)
笠松運動公園 (陸上競技場)	水戸信用金庫	水戸信用金庫スタジアム	令和4年度～令和7年度 (4年間)
笠松運動公園 (屋内水泳プール兼アイススケート場)	(株) 山新	山新スイミングアリーナ	令和4年度～令和6年度 (3年間)

(2) 管理手法

- 両施設とも平成18年度から指定管理者制度を導入している。

施設名	堀原運動公園	笠松運動公園
指定管理者	公益財団法人茨城県スポーツ協会	
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日 (5年間)	
従事者数	16人 (常勤12人、非常勤4人)	20人 (常勤20人)

(3) 利用状況

- 堀原運動公園の利用者数については、平成30年度までは増加していたが、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により減少した後、コロナ禍前の水準に回復しつつある。
- 笠松運動公園の利用者数については、平成26年度をピークに減少後、平成30年度以降は回復傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、回復途上にある。

【利用者数の推移】

(単位：人)

年度	ピーク	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 4 / ピーク
2施設合計	1,149,457	1,086,709	923,510	730,820	681,724	881,056	883,617	311,348	491,597	624,756	54.4%
堀原運動公園	259,283 (H29)	196,535	151,000	183,801	259,283	255,115	209,070	76,155	107,085	180,697	69.7%
笠松運動公園	890,174 (H26)	890,174	772,510	547,019	422,441	625,941	674,547	235,193	384,512	444,059	49.9%

(4) 経営状況

- 利用料収入については、平均で 120,000 千円前後で推移していたが、コロナ禍の影響を受け、減少した後、回復傾向にある。
- 維持管理費については、概ね 500,000 千円前後で推移していたが、エネルギー価格高騰の影響により、令和 4 年度は 562,817 千円であった。
- なお、茨城県スポーツ協会が実施した修繕以外に、県においても堀原運動公園野球場更新や笠松運動公園体育館バスケットゴール修繕等を実施しており、平均で 241,302 千円の修繕を行っている。

【収支の推移】(2公園計)

(単位：千円)

年度	歳入計 (A)			歳出計 (B)			収支 (A-B)	【参考】 県実施の 修繕費		
	うち 指定管理料	うち 利用料収入	その他	うち 人件費	うち 維持管理費	その他				
H26	645,939	464,716	134,777	46,446	657,192	92,128	515,796	49,268	△11,253	18,965
H27	622,936	451,890	114,168	56,878	600,947	95,620	474,430	30,897	21,989	292,922
H28	631,154	468,457	124,007	38,690	625,291	90,043	498,589	36,659	5,863	232,545
H29	638,965	470,211	128,313	40,441	633,880	92,646	500,289	40,945	5,085	364,557
H30	648,850	478,274	128,490	42,086	647,562	92,206	512,971	42,385	1,288	557,179
R 1	622,983	480,601	103,918	38,464	622,283	94,927	492,742	34,614	700	238,252
R 2	582,066	480,600	70,810	30,656	571,040	92,269	458,925	19,846	11,026	251,839
R 3	630,637	514,278	97,189	19,170	623,578	99,957	505,981	17,640	7,059	129,296
R 4	679,988	544,993	102,386	32,609	696,208	103,968	562,817	29,423	△16,220	86,163
平均	633,724	483,780	111,562	38,382	630,887	94,863	502,504	33,520	2,837	241,302

【大規模修繕の推移】（10,000千円以上の修繕を記載）

- 堀原運動公園においては、施設の設置以降60年以上が経過しており、野球場や武道館を中心に、設備の耐用年数及び老朽化の進行具合を考慮して、防球ネットや防災設備の修繕（更新）を実施し、利用者の安全性確保等を図っている。
- 笠松運動公園においては、施設の設置以降約50年が経過しており、令和元年度のいきいき茨城ゆめ国体に向けて陸上競技場や体育館の改修を行ってきたほか、屋内水泳プール兼アイススケート場においても、水質維持設備の改修等を実施し、利用者の利便性向上等を図っている。

（単位：千円）

年度	修繕実績額	修繕内容
H26	14,040	【笠松運動公園】プール棟施設設備整備
H27	284,228	【笠松運動公園】陸上競技場フィールド他改修
H28	199,400	【笠松運動公園】広場整備、アーチェリー場整備、第1駐車場改修、フェンス改修
H29	343,335	【堀原運動公園】野球場防球ネット他整備 【笠松運動公園】陸上競技場散水設備整備、空調等自動制御設備改修、陸上競技場スタンド観客席改修
H30	497,244	【堀原運動公園】弓道場防矢ネット他整備、野球場外部トイレ他改修、外部トイレ電気設備工事、外部トイレ機械設備工事、競技場管理棟改修 【笠松運動公園】飛込練習場整備、陸上競技場フィールド芝改修、陸上競技場周回路改修、陸上競技場計時計測システム改修、園内防犯カメラ設置、陸上競技場周回路植栽
R 1	200,329	【堀原運動公園】武道館大道場排煙設備他改修、武道館外壁他改修 【笠松運動公園】補助陸上競技場改修、体育館他トイレ改修、体育館他トイレ機械設備工事
R 2	242,577	【堀原運動公園】武道館大道場冷却塔設備更新 【笠松運動公園】陸上競技場公認更新、陸上競技場メインスタンド屋根復旧、体育館他消防設備改修、プール棟可動床シリンダロッド他改修
R 3	120,340	【堀原運動公園】武道館自動火災報知設備更新 【笠松運動公園】プール棟中央監視装置更新、陸上競技場・体育館発電機更新
R 4	70,989	【笠松運動公園】プール棟自火報・非常放送設備更新、プール棟水質維持設備改修
計	1,972,482	

(5) 周辺エリアの動向、他県の類似施設の状況

- 近県の類似施設も全て管理運営を指定管理で実施している。

※福島県あづま総合運動公園、栃木県総合運動公園、群馬県立敷島公園、千葉県立館山運動公園、埼玉県上尾運動公園、埼玉県吉見総合運動公園、神奈川県立保土谷公園、東京都駒沢オリンピック公園

2 課題

- ポストコロナにより、大会等での会場利用は戻りつつあるが、更なる利用者増を図るため、新たな大会や用途での利用誘致を図る必要がある。
- 各施設とも、開設から約 50 年が経過していることから、今後も計画的な施設や設備の修繕・改修を行っていく必要がある。

3 対応方針

現所有者	今後、想定される所有者	今後の取組方針（案）	該当の有無
県	県	現行の管理手法での施設運営の合理化など	○
		民間活力の導入による運営改善（施設リニューアル、P-PFI 等）	
	市町村	譲渡・譲与	
	民間	譲渡	
	—	廃止・休止	

【方針】

- 現行の管理手法を継続し、新たな大会や用途での利用誘致により更なる利用者増に取り組むとともに、施設や設備の経年劣化に対応するため、修繕等を適切に実施していく。

【理由】

- 当施設は、スポーツ及び余暇活動の場として多くの県民に利用されるなど、スポーツの振興を図る社会体育施設としての役割を担うとともに、茨城国体の会場としても活用された実績を活かし、引き続き県内の大規模な大会の開催施設としての役割が求められていることから、現行の管理手法による施設の存続が必要である。

公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	堀原運動公園	所管課	教育庁学校教育部保健体育課
-----	--------	-----	---------------

1 施設概要

所在地	水戸市新原2-11-1	整備年月	昭和32年6月
設置の根拠法令等	茨城県都市公園条例		
設置目的	県民のスポーツレクリエーション活動及び体力の向上とスポーツ文化の振興		
事業内容	運動公園の管理運営		
施設内容	競技場、野球場、武道館、自由広場、児童公園を有する		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	指定管理	管理者名	(公財)茨城県スポーツ協会
体制	16人 内訳	常勤職員	12人、非常勤職員 4人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	222,000	250,000	250,000	252,000	100,000
	実績	255,115	209,070	76,155	107,085	180,697

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	指定管理料	115,861	118,188	118,188	118,406	123,089
	使用料収入	15,249	12,881	9,769	13,627	16,545
	その他	10,360	13,449	9,099	3,759	7,765
	合計①	141,470	144,518	137,056	135,792	147,399
支出	人件費	39,625	40,874	40,540	43,716	45,960
	管理運営費	90,312	94,127	83,898	86,199	101,791
	その他	10,257	9,389	6,827	4,299	7,516
	合計②	140,194	144,390	131,265	134,214	155,267
収支(①-②)		1,276	128	5,791	1,578	△7,868

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	182,186	137,646	18,442	19,415	-

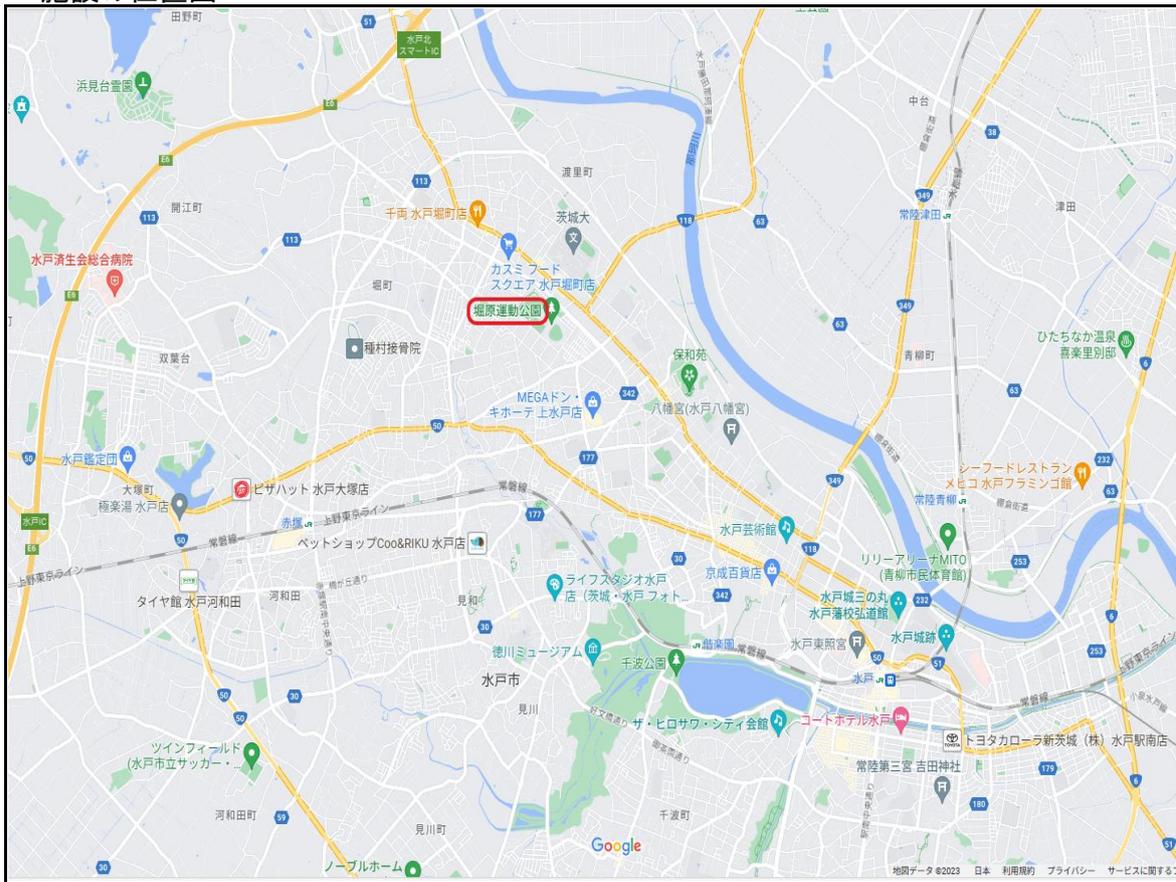
※10,000千円以上の修繕費

5 運営上の課題と対応

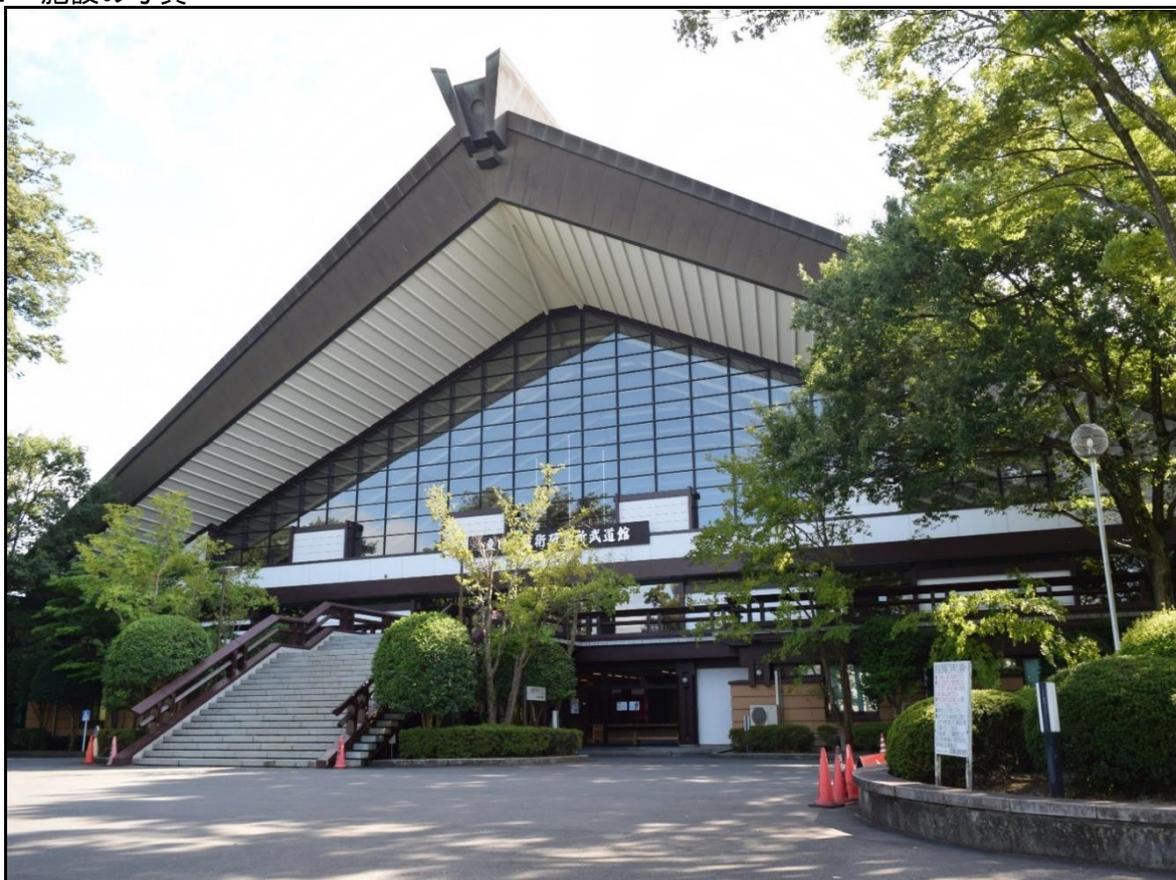
課題	対応
○整備から50年以上経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、修繕費の増加が懸念される。	○老朽化の進行により修繕等の増加が予想されることから、優先順位をつけて計画的に実施していく。
○利用料収入の増加を図る必要がある。	○ロケでの利用など、幅広い用途での利用を増やすため、いばらきフィルムコミッションなどの関係機関との連携を進めていく。

※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）



公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	笠松運動公園	所管課	教育庁学校教育部保健体育課
-----	--------	-----	---------------

1 施設概要

所在地	ひたちなか市佐和2197-28	整備年月	昭和49年12月
設置の根拠法令等	茨城県都市公園条例		
設置目的	県民のスポーツレクリエーション活動及び体力の向上とスポーツ文化の振興		
事業内容	運動公園の管理運営		
施設内容	陸上競技場、補助陸上競技場、投てき場、体育館、球技場、テニスコート、野球場、児童スポーツ広場、登はん競技場、屋内水泳プール兼アイススケート場、アーチェリー場、前庭広場、中央広場、日本庭園、子供の広場を有する		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	指定管理	管理者名	(公財)茨城県スポーツ協会
体制	20人 内訳 常勤職員	20人、非常勤職員	0人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	850,000	650,000	600,000	620,000	350,000
	実績	625,941	674,547	235,193	384,512	444,059

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	指定管理料	362,413	362,413	362,412	395,872	421,904
	使用料収入	113,241	91,037	61,041	83,562	85,841
	その他	31,726	25,015	21,557	15,411	24,844
	合計①	507,380	478,465	445,010	494,845	532,589
支出	人件費	52,581	54,053	51,729	56,241	58,008
	管理運営費	422,659	398,615	375,027	419,782	461,026
	その他	32,128	25,225	13,019	13,341	21,907
	合計②	507,368	477,893	439,775	489,364	540,941
収支(①-②)		12	572	5,235	5,481	△ 8,352

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	315,058	62,683	224,135	100,925	70,989

※10,000千円以上の修繕費

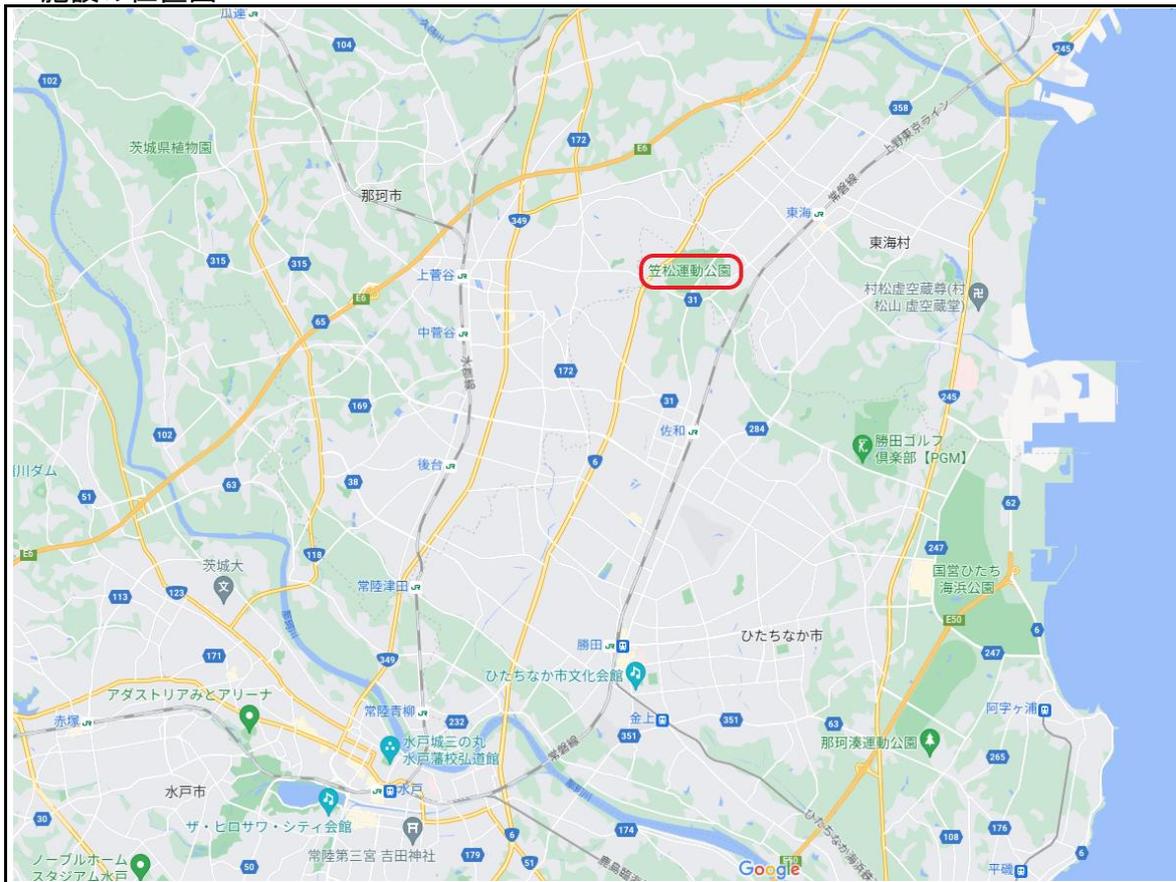
5 運営上の課題と対応

課題	対応
○整備から50年近くが経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、修繕費の増加が懸念される。	○老朽化の進行により修繕等の増加が予想されることから、優先順位をつけて計画的に実施していく。
○利用料収入の増加を図る必要がある。	○ロケでの利用など、幅広い用途での利用を増やすため、いばらきフィルムコミッションなどの関係機関との連携を進めていく。

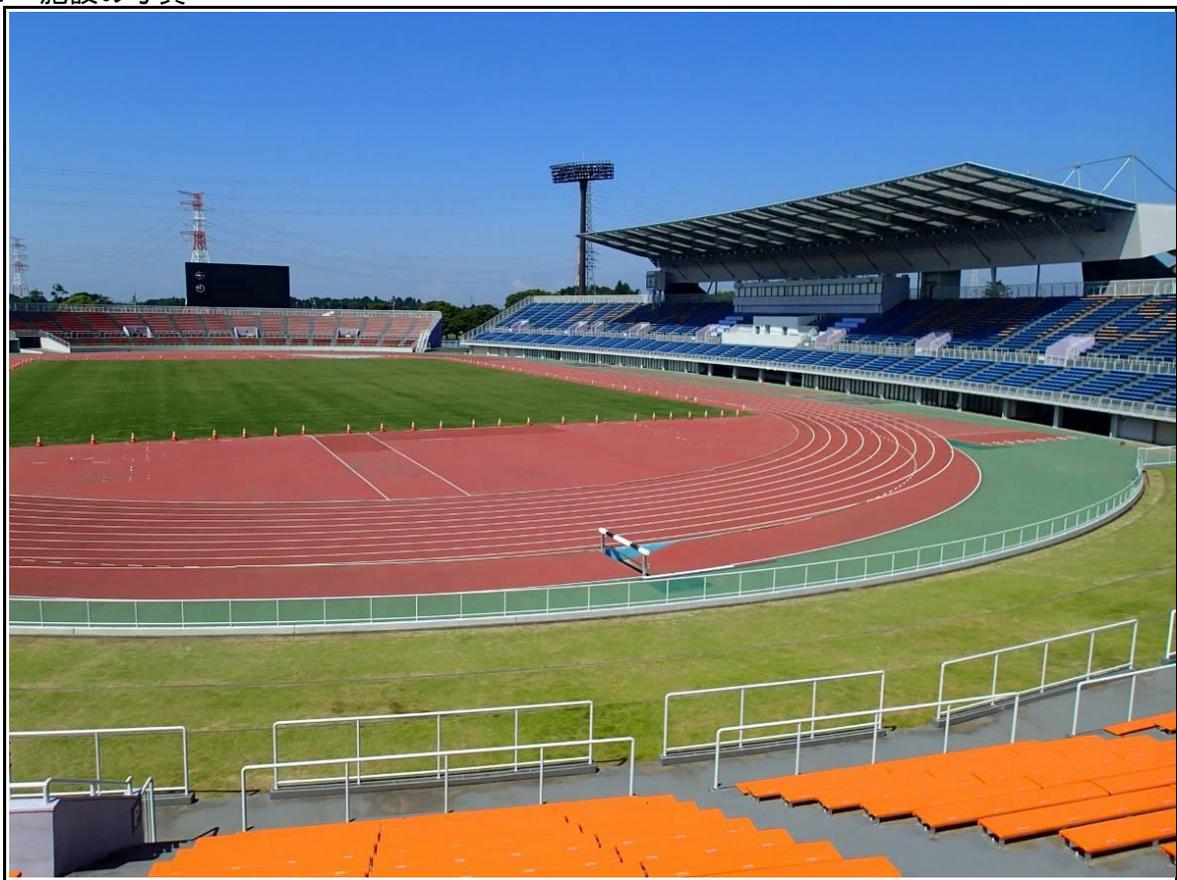
※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

(参考)

1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）

